



かみかわ町議会だより

No. 63

令和3年
9月1日発行



最終ページにかかるたの
説明があるよ

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。



撮影者「フォーカス友の会」
馬場 みつ江さん／石井 恵子さん



主な内容

- ◇令和3年6月定例会 一般会計及び特別会計の補正予算等を可決
農業委員会委員13名を同意
町政を問う 議員8名が一般質問

議会の傍聴について

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

第5回定例会は 9月 7日(火) [午前9時～ 一般質問等] から
17日(金) [午前9時～ 質疑・討論・採決等] を予定しています。

- 編集 神川町議会運営委員会 〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
 - 発行 埼玉県児玉郡神川町議会 ☎0495(77)0707
- <http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

6月定例会：一般質問

一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。6月定例会では、8人の議員が質問しました。

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することができます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。



質問者	質問事項	質問要旨	ページ
柴崎 愛子	1. 役場内での政党機関紙の取り扱いについて	1 庁舎内・公共施設内での政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配達・集金について	3
川浦 雅子	1. PCR検査について 2. 行政サービスについて 3. 生理の貧困について	1 希望者が検査を受けられる制度について 1 職員も住民も守る体制について 1 備品として生理用品の配布と設置について	4
桜沢 晃	1. 新型コロナウイルスワクチン接種について	1 申込及び接種状況について 2 集団接種体制について 3 今後の見通しについて	5
坂本 貴佳	1. 行政使用の電力について 2. 町の公用車について	1 クリーン電力使用によるイメージアップについて 1 公用車のエコ自動車化・充電設備について	6
田中 隆久	1. 未舗装道路の整備について 2. 陳情・請願の採択後の事業実施状況について	1 未舗装道路の点検と早急な対策について 2 農業政策への影響について 1 事業・予算化の優先順位について	7
廣川 学	1. 教育委員会の取り組む学力向上について	1 学力向上の目安や目的について 2 今年度以降の計画について	8
四方田繁男	1. 神川町の将来像について	1 町の未来を担う世代の意見について 2 定住人口増加の促進策について	9
赤羽奈保子	1. パートナーシップ宣誓制度について 2. やさしさの輪を広げる活動について 3. 新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者への支援について	1 パートナーシップ宣誓制度の導入について 1 シトラスリボン運動の推進と啓発について 1 感染者や濃厚接触者への町独自の支援について	10

一般質問



柴崎愛子議員

◆役場内での政党機関紙の取り扱いについて

「庁舎内、公共施設内での政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘、配達、集金について」

「しんぶん赤旗」が現職の共産党議員によって庁舎のカウンターの中で仕事中の職員の机の間を縫って配達され、集金されている光景を平成6年から、ずっと目にしてきました。その行動は、就業改善センター内の教育委員会や中央公民館でも見えてきて、疑問を感じていました。新庁舎に移転した、今でも配達されています。

「しんぶん赤旗」は、政党機関紙です。これを役場内で受け取ることは、地方公務員法の第33条(信用失墜行為の禁止)、第35条(職務に専念する義務)、第36条(政治的行為の制限)には当たらないのでしょうか。

また、勧誘は課長補佐級になると、「おめでとーい」になります。読んでください。」と言つ声掛けがあると聞きましたが、地方公務員法や神川町庁舎管理規則等を鑑みれば、声掛けされた方それぞれの判断が大事なのではないのでしょうか。(誤解の無いように、役職に就いた職員全てが受け取っているではありません。)

埼玉県議会では、平成27年2月定例会で、「しんぶん赤旗」の県職員勧誘問題について一般質問され、埼玉県は、「庁舎内での新聞等の購読、勧誘は庁舎管理規則の運用として認めていない。」と答弁しています。

何十年の間、当たり前前に配られていた、庁舎での政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘、配達、集金を禁止するか、町の考えを伺います。

答え 町長

「職員個人契約と認識し、使用許可の条件を遵守するよう伝えます」

「しんぶん赤旗」について、政党機関紙ではありますが、個人的に購読することは政治的行為とは認められません。

庁舎内で物品の販売等する場合には、神川町庁舎管理規則第7条に基づき、使用許可が必要

です。「しんぶん赤旗」は政党機関紙ですが、個人的に購読することについて政治的行為であるとは認められず、他の物品販売と同様に職員個人の物品契約という認識をしています。

職員の利便性を考慮し、職員の休憩時間にやり取りをすることを条件に許可を出しています。条件から外れた形で行われているようであれば、遵守するよう伝えていきます。



一般質問



川浦雅子議員

◆PCR検査について

新型コロナウイルス無症状感染者を見つけ出し、保護することとは重要です。

美里町では、社会福祉施設等職員や、学校職員等にPCR検査を行っています。大規模検査や、秩父市で扱っている1回千円の検査キット等、検査を希望する住民が低額で受けられる取組について、考えを伺います。

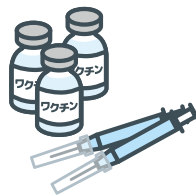
答え 町長

「県の検査体制を後押しします」

高齢者施設従事者のPCR検査に対しては、県の検査体制の後押しをして、受検をするよう、働きかけをしています。町では、保育所等の定期的なPCR検査や、安価にできる簡易検査の実施は、現段階では考えていません。PCR検査は、検査した時

点での結果であり、検査実施タイミングによっては感染をしても検出することができない可能性もあります。

ワクチン接種を一人でも多くの町民が接種できるような、全庁を挙げて取り組んでいきます。



◆行政サービスについて

自治体における非正規職員の増加は、住民が求める公務公共の拡充に繋がらないと思います。正規職員増員をはじめ、職員がワクチン接種を受けやすい環境整備と、受けない人への配慮について、町の考えを伺います。

答え 町長

「計画的な職員採用と事務事業を見直します」

限られた人員で業務の多様化

や新たなサービスに対応するため、町の業務全体を見極めながら人員の配置を行っています。正規職員数の減少がサービス低下に直結することのないように考えています。業務量の増加課所には、再任用職員、会計年度任用職員を配置しています。引き続き計画的な職員採用と、事務事業の見直しを進めます。

ワクチン接種後、発熱等の風邪症状が見られる場合は、特別休暇の対応も考えます。ワクチン接種は、あくまでも任意であり、受けない職員が不当に扱われないように努めます。

◆生理の貧困について

月経についての教育の不十分さや、衛生用品が買えない「生理の貧困」の問題は、社会全体の課題です。

健康面、衛生面からも女性支援として生理用品の購入が困難な方へ無料で配布する取組について、考えを伺います。

また、学校のトイレに備品として生理用品を設置することについて、町の考えを伺います。

答え 町長

「必要な生理用品を配布していきます」

町では生活困窮相談の際に、必要に応じて生理用品を配布しています。

子育て支援としても生理用品の配布を一つのきっかけとして、衛生面を含めた生理用品の正しい使用方法などの助言をするとともに、子育てや家庭の状況把握に努めていきたいと考えています。

社会福祉協議会でも、子育て世帯への食料支援等の際に、生理用品の配布も計画しています。

答え 教育長

「引き続き保健室で無料配布します」

学校のトイレに生理用品の設置は、衛生上の問題等もあり、現状のとおり、保健室での無料配布を考えられています。

保健室

一 般 質 問



桜 沢 晃 議員

◆新型コロナウイルス ワクチン接種について

「接種状況、接種体制及び今後の見通し」

町から5月6日に65歳以上の方に接種券が発送されましたが、なかには電話がつかならず苦労した人もいたようです。町では混乱はなかったのか、また、65歳以上の何%の人が申し込みをしたのか伺います。

また、集団接種のスタッフは何処から来て何人の人が従事し、スタッフの接種は済んでいるのか伺います。

私の場合、5月10日に電話予約しましたが、既に集団接種は一杯で、個別接種が8月17日となりました。その後、町から通知があり、集団接種を増やしたので、6月中の接種が可能との連絡がありました。今後の接種計画について、伺います。

併せて、ワクチンの現在の供給量や今後の供給計画について、また、16歳から64歳までの接種はいつ頃になるのか伺います。

答え 町長

「接種は順調に推移し、高齢者分のワクチンは届いています」

町での接種申込は4月26日から本庄市児玉郡共同でスタートしました。当初は電話がつかりにくいなど苦情やご指摘もいただきました。5月末現在、65歳以上の約85%の方が申込を完了しています。

集団接種は総合福祉センター及びステラ神泉で実施し、医師は町内医療機関と本庄市児玉郡医師会から派遣を受け、看護師は医師帯同や会計年度任用職員で対応しています。その他受付や問診は町職員が行い総勢、20名程度です。医師の接種は済ん



受付～予診票確認

でいますが、その他のスタッフについては、全員は済んでいません。今のところ、集団接種回数を増やし、7月末までには希望者全員が1回目を、2回目も90%位の方が接種を終了する予定です。ワクチンは5月末までに4千500人分届いています。今後予定される16歳から64歳までの接種は国の方針が出た後、計画します。



接種後待機



接種会場（総合福祉センター）

一 般 質 問



坂本貴佳議員

◆行政使用の電力について

社会は脱炭素化の流れのなか、化石燃料で発電した電力を買い常識から、CO2を発生させないクリーン発電での電力を使用する動きがある一方、神川町は高齢化・人口減少の波が押し寄せ、その上、知名度・認識度は県内でも依然低く、観光・農業・所得等に影響が出ている可能性があります。

この状況は現状の施策だけでは解決は難しく、環境に優しい町『神川』としてアピールするため、庁舎使用電力を、町の環境を利用したクリーン発電電力使用でイメージアップを図り、知名度・認知度の向上に繋げ、現在抱える課題解決の糸口の一つに結びつく可能性を含みますが、町の考えを伺います。



答え 町長

「イメージアップは必要な課題と考えています」

町では、豊かな自然を生かした地域資源を材料として、イメージアップと地域産業の振興を実施しています。クリーン電力への取組は、本庁公用車の車庫、神川中学校、就業改善センター、本庁舎に太陽光パネルを設置しています。本庁舎の昨年実績では、LED照明導入との

相乗効果により使用電力の13%程度を太陽光発電で賄い、環境負荷軽減にも努めています。

クリーン電力を利用しているイメージアップについては、持続可能なまちづくりの観点からも、今後の総合計画や総合戦略を見直す際に検討が必要な課題と考えています。

◆町の公用車について

神川町の公用車は約70台で内3台のエコ自動車保有し、環境に優しい移動手段として、電気自動車を採用しています。

電気自動車は、バッテリー容量不足、高速充電施設不足等の問題を抱えますが、電気自動車の導入を率先して行い、高速充電設備整備を推進し、神川町が電気自動車先進地とし、来町者(車)に安心感を与えるべきです。この様な社会の変革に対応した、町のエコ自動車導入計画、高速充電施設設置計画等につき、国・県への働きかけを含め神川町の方針を伺います。

答え 町長

「国・県への要望や町補助金は考えていません」

町の公用車はトラックやバスなどを含めて74台保有し、エコカーはプラグインハイブリッド車2台、電気自動車は3台で、公用車更新は、用途・環境負荷を考慮し、全体を見て検討します。

また、町内公共施設の充電場所は、本庁舎駐車場に急速充電器が1基、児玉郡本庄市内は33か所(半数は民間)と、設備も増加しており、民間への協力要請は慎重な検討が必要と認識しています。設置に対する補助金は次世代自動車振興センターからの補助金があり、国・県への要望、町での補助についても、現在考えていません。



一般質問



田中隆久議員

◆未舗装道路の整備について

町内の農地が集団化している区域には、未舗装の町道が存在します。区域内の町道は、交通量は少ないものの、優良農地で生産された農作物を運搬する主要な道路として利用されていますが、路面状況が悪く農作物品質低下につながっています。従来は、周辺の利用者や地域で道普請を実施していましたが、コロナ禍や農家の高齢化により、道普請が実施できず、悪い路面



補修作業前



補修作業後

状況の道路を利用するしかない状況となっております。

この政策は、耕作放棄地の減少や農業後継者の確保につながるものと考えています。未舗装の町道について、今後、路面の改修等の計画があるのか、町の考えを伺います。

答え 町長

「今後も計画的な道路の舗装化を図ります」

農業生産地域における農地内の道路は、農産物の輸送に重要な役割を担うほか、生活道路の

代替にもなっています。町では、日常業務の中で職員による路面状況の点検を行い、その都度補修を行っています。皆様からの情報提供も重要であるため、役場まで、ご連絡をお願いします。今後も計画的に道路の舗装化を図り、農産物輸送時の衝撃防止対策や道路利用者の利便性の向上に努めていきます。

◆陳情・請願の採択後の事業実施状況について

陳情や請願が採択された事業について計画的に事業を実施していると考えていますが、採択された順番のとおりを実施されていないものも見受けられます。どのような優先順位で事業を実施しているのか、優先順位のつけ方と未実施の事業数、その理由について、伺います。

答え 町長

「現地の交通状況、地域間バランス等を考慮して整備しています」

陳情、請願案件は、平成元年

から令和2年までの間に399件ありました。そのうち313件が完了、または、一部実施であり、残りの86件が未実施です。このうち18件は、来年度以降の実施に向け調整を行っています。予算化の優先順位については、現地の交通状況、町内の地域間バランス等を考慮して、条件の整ったところから整備をしています。

また、①安心安全の点から緊急性の高いものは優先順位が高く、②町の活性化という点から事業効果の高いもの③計画的に測量設計、用地取得が完了し、工事の実用性が高いものといった、三つの点から工事箇所を選定し、順次行っています。

未実施箇所は、団体との協議、あるいは用地取得、相続などの課題があり、実施が現段階では困難な状況ですが、引き続き要件を整えて実施に向けて努力します。



今年度から始まっているタブレット授業



廣川 学議員

◆教育委員会の取り組む 学力向上について

「市民の求める学力向上とは」

国や県の学力調査の得点を上げることだけでなく、実質的な学力向上として保護者の望んでいるものは、進路、進学に対応出来る学力だと考えますが、町の今年度掲げている学力向上の目的と、具体的な目標を伺います。

学力向上においては、学習意欲の向上が不可欠で、それに繋がるキャリア教育が必要となります。将来の目標や充実した人生を考えるための、キャリア教育の充実について伺います。

併せて、文部科学省の考え方として、読解力を重視しており、町が出来る対策、対応や読解力に大きく関係する町内での読書環境について伺います。

答え 教育長

「一人一人の夢の実現と自覚を持たせるところから始めています」

令和3年度から3か年計画で

学力向上推進計画を策定し、学力向上の目的は一人一人の夢の実現としています。具体的な目標は、埼玉県学力・学習状況調査の結果が前年度よりも伸びた子どもの割合を毎年10%上げることです。

小中学校でのキャリア教育のなかで、まず将来の夢の実現のためには、今、何をなすべきかを子どもたちに考えさせて、学力向上が重要であるという自覚を持たせるところから取組を始めています。そのなかには、読解力向上のため、文章を正しく読んだり、書いたりする活動を朝自習や宿題で取り組んでいます。また、小学校入学前からの読書習慣の定着も重要で、幼稚園、保育所等の本を貸し出す配本事業を一昨年度から始めたところ、貸出し数が増えています。電子図書館の活用も含めて学校と家庭が連携し、引き続き読書の大切さを啓発していきます。

一 般 質 問



四方田 繁男 議員

◆ 神川町の将来像について

「町の未来を担う世代の意見や定住人口増加の促進策について」

未来の神川を担っていく若い世代の皆さんから意見を聞き、町づくりに反映させていくことが大切です。若い世代の皆さんが集まり、町の未来について考えていく組織を立ち上げることが必要だと考えます。ライブ配信やウェブ会議などの実施であれば、若い世代の方も参加しやすいのではないのでしょうか。また、若手職員の中にも素晴らしい意見や熱い思いを持った人が沢山いると思います。町では、総合戦略や移住支援金制度など様々な事業に取り組んでいます。効果が感じられません。児玉郡内の人口状況について平成17年を基準に今年の5月現在まで

で、神川町、上里町、美里町は人口が減少しています。なかでも一番減少している神川町はもっと積極的に移住、定住を推進する必要があるのではないのでしょうか。

町の未来を担う世代の意見や定住人口増加の促進策について、町長の考えを伺います。

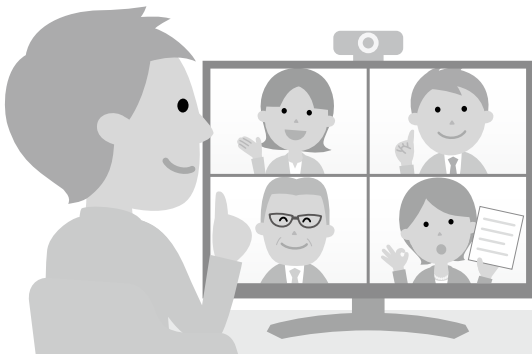
答え 町長

「将来の人口減少抑制や定住促進に取り組みます。」

町の未来を担う世代の意見について現在町では町長への手紙、町民の皆様が自由に意見を投書できるまちづくり提案箱、私のまちづくり提案の設置、ホームページの問合せフォームからもご意見を受け付けています。20代から、40代までの若い方々の意見を聞くことは、非常に重要だと考えています。若い世代の町職員の意見募集については、

従来から実施している職員提案制度を、これまで以上に若い世代の職員が提案しやすくなるような工夫を進めたいと思います。また、定住人口増加の促進策について、2060年に1万人の人口を確保することを長期目標に、雇用の創出、出産、子育て支援など、移住促進、婚活支

援、空き家対策、新たに結婚新生活支援事業を実施し、子育て世代への環境整備に努めています。定住につながる事業や取組の情報について動画配信など、様々な媒体を用いた広報にも努め、今後も将来の人口減少抑制や定住促進を目指して取り組みます。





赤羽 奈保子 議員

◆パートナーシップ宣誓 制度の導入について

同性同士でも家族として認められるパートナーシップ宣誓制度では、LGBTの方が今まで諦めていた生活や制度を利用できたり、家族としての権利を持つことができるようになります。マスコミなどでは、性の多様性を尊重する報道がされていいますが、当事者にとってはまだまだ生きにくい社会であるのではないかと感じています。制度を導入することで、LGBTの方の生き方を尊重し、住みよい神川町にしてほしいと思えますが、町の考えを伺います。

答え 町長

「令和4年4月の制度導入に向けて準備しています」

この制度は平成27年に東京都

渋谷区で初めて導入され、令和3年5月現在、105の自治体で導入されており、県内では、現在12の自治体で導入されています。

町では、令和4年4月の制度導入に向けて事務を進めています。今後も引き続き差別や偏見のない人権尊重社会実現のために、性的少数者の方への理解促進と支援に取り組んでいきます。

◆シトラスリボン運動の 推進と啓発について

シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志が作ったプロジェクトです。コロナに感染した方や医療従事者の方など、それぞれの暮らしの場で「ただいま」、「お帰り」と言い合える町でありますようにとの思いをシトラス色のリボンに込めています。

この活動を通して、シトラスリボンの輪のように町全体に「やさしさの輪」を広げていければと思いますが、町の考えを伺います。

答え 町長

「今後もシトラスリボン運動を周知します」

シトラスリボンプロジェクトは、社会福祉協議会のボランティアの方にリボンを作ったいただき、それを役場、社会福祉協議会の窓口等で配布をしています。

コロナウイルスに感染するリスクと不安を抱えているなかで、差別や偏見は人権侵害に当たる行為ですので、当然許されるものではありません。

このシトラスリボンをワークチン接種会場に設置するとともに、町ホームページにも取組を掲載していきます。

◆感染者や濃厚接触者への 町独自の支援について

新型コロナウイルスに感染し

た場合、埼玉県では入院か療養施設での療養が基本になります。小さい子どもがいて預け先がないなど、様々な理由で自宅療養しなければならぬ場合も出てくると思います。また、濃厚接触者は、2週間の自宅待機を余儀なくされ、日用品や食料品が不足しても外出もできません。

県から食料品等の支援があるのですが、町として何か支援ができるのか、今後支援する考えがあるのか、伺います。

答え 町長

「情報不足で支援は難しいと考えます」

町独自の支援は、したくてもできない状況にあります。

町には、陽性者や濃厚接触者がどなたかというのには知らされませんが、お困りの方がいると思えますが、保健所から細かい情報は一切ありません。

町に相談があれば、何が必要なのか、支援することもできませんが、自らを陽性者と町に教えることは難しいものと考えています。



令和3年第4回神川町議会定例会は、6月4日から11日までの8日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和3年度一般会計及び特別会計の補正予算をはじめ、条例の制定や改正等7件、変更契約1件、人件案件等14件、報告2件の計26件の案件が審議され、原案どおり可決・同意されました。

また、議員提案1件も審議され、可決されました。

令和3年度一般会計補正予算(第1号)

1,835万8千円増額

【主な事業】

- ・低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業：1,132万4千円
- 新型コロナウイルス感染症対策として、低所得の子育て世帯に「児童一人当たり一律5万円を支給」するもの。

6月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和3年度神川町一般会計補正予算(第1号) 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、低所得の子育て世帯支援や教育振興対策など。歳入歳出各1,835万8千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各62億2,835万8千円とするもの。	○
	令和3年度神川町介護保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出各243万4千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各11億4,719万円とするもの。	○

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

6月定例会議案一覧及び審議結果「条例・契約等」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	行政手続における押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例 行政手続における押印の見直しに伴い、改正を行うもの。	○
	神川町町道の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例 道路法等の一部改正に伴い、改正を行うもの。	○
	神川町における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の一部を改正する条例 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部改正に伴い、改正を行うもの。	○
	神川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、改正を行うもの。	○
	神川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、改正を行うもの。	○
	神川町特定教育・保育施設の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例 子ども・子育て支援法施行規則の一部改正に伴い、改正を行うもの。	○
	神川町子ども医療費支給に関する条例及び神川町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部改正に伴い、改正を行うもの。	△
物品購入契約の変更について 総合福祉センターの空調機器の変更に伴い、増額契約を締結するもの。	○	
議員提出	神川町議会会議規則の一部を改正する規則 議員活動の環境整備及び請願者の利便性の向上を図るため、改正を行うもの。	○

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

6月定例会議案一覧及び審議結果「人事案件等」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	農業委員会委員に占める認定農業者等の割合を少なくとも4分の1とすることにつき同意を求めることについて 議会に農業委員会委員の同意を求めるため、特例を定めるもの。	○
	令和2年度神川町一般会計継続費繰越計算書について 丹荘保育所整備事業費：令和2年度継続費予算総額3億1,570万7千円のうち、支出済額及び支出見込み額を1億1,890万8千円、翌年度通次（ていじ）繰越額を1億9,679万9千円とするもの。	報告のみ
	令和2年度神川町一般会計繰越明許費繰越計算書について 全12事業の予算総額3億6,883万3千円を翌年度に繰り越すもの。	報告のみ

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

農業委員会委員13名を同意

農業委員会委員の任期満了に伴い、町長から同意案が提出され、すべての議案を満場一致で同意されました。

氏名(住所別に記載)	住所	氏名(住所別に記載)	住所
長谷川 隆 氏	神川町大字新宿	松原 良治 氏	神川町大字四軒在家
野村 清太郎 氏	神川町大字池田	関根 豊 氏	神川町大字元阿保
町田 雅文 氏	神川町大字新里	松本 由紀子 氏	神川町大字八日市
木村 豊 氏	神川町大字新里	佐藤 文雄 氏	神川町大字熊野堂
原口 幸雄 氏	神川町大字中新里	櫻澤 泰信 氏	神川町大字渡瀬
藤牧 重徳 氏	神川町大字肥土	四方田 芳泰 氏	神川町大字上阿久原
坂本 等 氏	神川町大字元阿保		

各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く）

議案名称	議決等の結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		四方田繁男	桜沢 晃	田中 隆久	川浦 雅子	野口 弘吉	坂本 貴佳	清水 敏信	堀川 光宣	柴崎 愛子	廣川 学	落合 周一	赤羽奈保子
町長提出議案 神川町子ども医療費支給に関する条例及び神川町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○

○ 賛成 × 反対 — 清水敏信議長（議事進行）は採決に加わりません。



清水敏信 議長 児玉郡町議会議長会長並びに児玉広域圏組合議会 議長に選出

神川町議会の清水議長が、美里町、上里町及び神川町の3町で構成する児玉郡町議会議長会長の会長、並びに、本庄市、美里町、上里町及び神川町の4市町で構成する児玉郡市広域市町村圏組合議会の議長に選出されました。

6月8日 総務経済常任委員会協議会 町内を視察

6月8日(火)、建設課所管事業の神流川水辺公園内の駐車場新設現場(大字渡瀬地内)と令和3年度改良予定の町道5180号線(大字小浜地内)の2箇所を視察いたしました。

水辺公園の駐車場整備では、工事現場内を視察しながら工事の概要及び現場の状況等について、説明を受けました。

また、町道5180号線(通称「農免道路」)では、担当者から、計画の概要について説明を受け、現況の確認を行いました。

議員から、「舗装修繕の多い理由」や「改良工事による路盤改善」などの改良工事への質問等がありました。



6月10日 文教厚生常任委員会協議会を開催



6月10日(木)、全員協議会室において、「学校におけるIT教育(タブレットの状況)」「コロナ禍における今年のイベント」について、福嶋教育長をはじめ担当職員と意見交換いたしました。

学務課からは、プロジェクターを使用したタブレット教育の動画説明や、タブレット貸出に伴う保護者宅のネットワーク環境の調査結果の説明がありました。

また、生涯学習課からは、3密を避けながらの町民体育祭や文化祭等のイベント開催の可能性について検討状況の説明を受けたところ、議員から、「イベント開催は、感染リスクを最大限予想したうえで検討すべき」や「イベント開催の検討は、コロナ感染が落ちついてからでも良いのでは」などの意見がありました。

